

募集

～NPOによる、新しい協働アイデアを募集します～

第6回企業&NPO協働アイデアコンテスト

NPOが自分たちの活動や協働事業のアイデアを、直接企業などに披露できる「協働アイデアコンテスト」。最終選考会に進んだ団体には、20万円～3万円の助成金も進呈されます。

まず、団体についての情報を所定のエントリー用紙に記入し、エントリーしてください。その後、ゆっくり協働アイデアの内容を検討いただき、提出して下さい。あなたの協働アイデアをカタチにするチャンスです!! (山崎)



◇応募条件 中部・北陸9県に所在するNPO

◇募集 エントリー:

8月20日(土)～9月20日(火)

アイデア応募:

9月21日(水)～10月20日(木)

◇最終選考会(公開) 12月16日(金) 15:00～
名古屋栄ビル(名古屋市中区武平町5-1)

◇各賞の助成金

最優秀賞	1団体	20万円
優秀賞	1団体	10万円
特別賞	1団体	5万円
奨励賞	2団体	3万円



*応募用紙はPSCのHPからダウンロードできます。詳しくは、同封の募集チラシをご覧ください。

*応募・お問合せは、パートナーシップ・サポートセンター(PSC)「企業&NPO協働アイデアコンテスト」募集係まで。

募集

主催: 独立行政法人
環境再生保全機構 地球環境基金
**環境NGO・NPOのための
運営力パワーアップ研修**
受講生募集中!

9/26締切

NGO・NPOを取り巻く環境は変わりつつあります。環境NGO・NPOにおいても、個別に活動するだけでなく、さまざまな主体と話し合い、連携・協働することが求められています。

10月から、環境保全活動を行っている環境NGO・NPOの方を対象に計5回の講座を実施します。この講座の合言葉は、「5日間で運営力を高めよう!」。各団体の組織基盤や活動を客観的に把握することからスタートし、最終的に連携・協働に向けた提案をするための実践力を習得できる内容です。

お近くで関心のありそうな方へぜひご案内下さい。応募締切は9月26日、詳細は同封のチラシにてご確認くださいませ。(松橋)



募集

**「NPO法改正&新寄付税制」について
地域学習会を開催します。**
ぜひご参加ください。

2011年6月、NPO法と新寄付税制の関連法案が成立しました。認定NPOの認定要件が緩和され、寄付が集めやすくなるなど、NPOにとっては大きなメリットがあります。

新制度の活用に向けていち早く学習会を行います。制度の内容を十分に理解し、今後の団体運営にぜひお役立て下さい。(下平)

- ◆日時 2011年10月6日(木) 17:30～19:30
- ◆講師 関口宏聡氏
(特定非営利活動法人シーズ・市民活動を支える制度をつくる会 プログラム・ディレクター)
- ◆対象 NPOの代表・職員および行政NPO担当部署職員等
- ◆定員 30名
- ◆参加費 2000円(PSC正会員1000円)
*新寄付税制がよくわかるパンフレット「認定NPO法人が寄付を集めやすくなりました」を差し上げます。
- ◆会場 池下ピアザ(地下鉄東山線「池下」駅徒歩2分)
※詳しくは、同封のチラシをご覧ください。



事務局だより

朝夕は秋の涼しい風が感じられるこの季節、PSCではパートナーシップ大賞の審査・調査、協働アイデアコンテスト開催に向けて、まだまだ暑い日々が続きます。

4月からPSCでお世話になっています。一面で紹介しています経済産業省補助事業に従事させていただき、あっという間に緊張した毎日が過ぎてしまいました。ハンズオン支援先では、言葉を交わすところから何事も始まるということを実感。人と人が実際に向き合うことの大切さを感じました。この秋! しっかり食べ、活力を蓄え、PSCの協働支援ノウハウの全国移転を行い、移転先で協働アイデアコンテストの開催を目指し、また次年度の事業継続を目標に、力を緩めることなく邁進したいと考えています。(加藤)



PSC
Report

パートナーシップ・
サポートセンター

Vol.79

発行 特定非営利活動法人
パートナーシップ・サポートセンター(PSC)
〒464-0067 名古屋市中区池下1丁目11番21号
サンコート池下4F
TEL (052) 762-0401 FAX (052) 762-0407
E-Mail info@psc.or.jp URL http://www.psc.or.jp
発行人・岸田真代

**経済産業省「経済団体(等)を巻き込む“SB&企業の連携”推進事業」
全国5カ所の移転先でハンズオン支援がスタートしました!**

本事業は「中間支援スキーム・ノウハウの標準化」と「地域中間支援機関の担い手育成事業」という相関する2つの事業で進めています。

7月10日(日)には「中間支援スキーム・ノウハウの標準化」第3回検討会議が池下ピアザで開催されました。5名のアドバイザーには、マニュアル化についての研究分析資料をいただき、今後の協働・連携ノウハウ移転に有効なマニュアルづくりについて討議しました。

PSCの実績である協働事例、PSCの活動履歴等、さまざまな情報を集積し、これらを整理・分析し、今までにない画期的&実践的なマニュアルにしていきたいと思います。

9月3日(土)には第4回検討会議を開催し、具体的なマニュアルの骨組みを固めていく予定です。



第3回検討会議



第1回ハンズオン支援(栃木県)

「地域中間支援機関の担い手育成事業」では、いよいよ全国に向きPSCの協働・連携のノウハウを移転するハンズオン支援が始まりました。8月9日(火)には、とちぎボランティアNPOセンターぼ・ぼ・ら(栃木県)で第1回ハンズオン支援を開催。栃木県経済同友会をはじめとする地元経済団体、行政からは栃木県民協働推進室、地域NPOからは(N)とちぎボランティアネットワーク他、各地域の支援NPOなど実力ある総勢23名が集まりました。岸田代表の「ソーシャル・ビジネスと企業の連携」をテーマとした基調講演の後、栃木県での「企業とNPOの協働」支援の展開について熱心な質疑が出されました。

翌8月10日(水)には、栃木県庁協働推進室で、栃木県における協働アイデアコンテスト実現に向けて、具体的なシステムづくりについての打ち合わせが行われました。移転先のとちぎボランティアNPOセンターの事務局も大変な意気込みで、事業目的の達成に向けて順調な滑り出しが実感できました。8月下旬からは、順次他4カ所の移転先のハンズオン支援が続く予定です。(加藤)

「第8回パートナーシップ大賞」二次審査が終わりました!

「第8回パートナーシップ大賞」は、6月1日から募集を開始し、7月31日に応募受付を締め切りました。今回は特に震災の影響で、開催そのものも危ぶまれた時期もありましたが、全国のNPO団体・企業から多くの関心が集まり、応募総数は29事例。去る8月27日～28日にかけて、審査員・調査スタッフによる一次審査(書類審査)が行われました。会場となった池下ピアザでは、立秋とは名ばかりの暑さの中、さらに熱い議論が繰り広げられ、厳選なる審査の結果、11事業が二次審査に進むことが決定しています。

一次審査を通過した事業については、このあと1ヵ月ほどをかけて、調査スタッフによる現地調査とヒアリング調査が始まります。(水野真由美)

「第8回パートナーシップ大賞 最終審査&表彰式」

最終プレゼンテーションは公開で行われ、ご来場いただいた聴衆の皆さまも、「あなたが選ぶグランプリ」を投票していただくことができます。2011年のパートナーシップ大賞グランプリが誕生する瞬間に、ぜひご参加ください!!

2011年11月26日(土) 13:30～

名古屋国際センター 別棟ホール(名古屋市中村区那古野一丁目47番1号)

第7回パートナーシップ大賞事例集

**NPO&企業 協働評価
目指せ! 「パートナーシップ大賞」
を発刊します!!**

昨年11月27日に開催した第7回パートナーシップ大賞の事例集。惜しくも入賞を逃した協働事例のコンサルティングを岸田代表が行った様子も特集として掲載しています。

協働事業の評価のポイントなどもわかりやすく解説しています。

9月中ごろには皆さまのお手元にお届けできるよう編集中です。ご期待下さい!!

(山崎)



PSC 主な活動2011年7月～8月

- 7/1(金) 名古屋市指定管理者評価委員会、なごや環境大学(検討会)、第7回パートナーシップ大賞事例集入稿
- 7/7(木) (株)二和印刷紙業 第1回SHD(従業員)①
- 7/8(金) 名古屋市指定管理者評価委員会、大垣まちづくり市民活動支援センター来所
- 7/10(日) 「SB&企業の連携推進事業」第3回検討会議
- 7/12(火) 名古屋市指定管理者評価委員会
- 7/13(水) (株)真誠 第2回SHD(取引先)①、第2期社会的事業コーディネーター養成科(以下社会的事業C養成科)第1回講座説明会(9月開講)②
- 7/14(木) 愛知県「NPOと行政の協働に関する実務者会議」第2作業部会
- 7/15(金) (株)ドライバーサービス 第1回SHD(取引先)①
- 7/21(木) 南部薬品(株)第3回CSR委員会①、カフェアイリス運営会議、東北支援提案(株)三五打合せ
- 7/25(月) (株)ドライバーサービス 第2回SHD(地域・NPO)①
- 7/26(火) 太陽電化工業(株)第4回CSR委員会①
- 7/27(水) (株)真誠 第3回SHD(地域・NPO)①、第2期社会的事業C養成科第2回講座説明会②、新しい公共支援事業公開プレゼン(傍聴)
- 7/29(金) (株)二和印刷紙業 第2回SHD(地域・NPO)①、名古屋市交通問題調査会
- 7/31(日) 「第8回パートナーシップ大賞」応募事業受付締め切り
- 8/4(木) 愛知県新しい公共支援事業プレゼン
- 8/5(金) 第1期社会的事業C養成科修了式②、(株)二和印刷紙業 第3回SHD(取引先)①
- 8/8(月) 名古屋市公共事業評価(監査委員会&視察)
- 8/9(火) 「SB&企業の連携推進事業」第1回ハンズオン支援(栃木)、第2期社会的事業C養成科受講生募集締め切り
- 8/10(水) 社会的事業C養成科受講生一次審査選考会、新しい公共支援事業公開プレゼン(傍聴)
- 8/11(木) (株)ドライバーサービス 第3回SHD(従業員)①、第2期社会的事業C養成科二次募集開始(～9月1日) 夏季休業(～17日)
- 8/16(火) 日本NPOセンター全国会議(大阪)
- 8/18(木) 南部薬品(株)第4回CSR委員会①
- 8/19(金) 愛知県と「協働ネット」打合せ
- 8/20(土) 「第6回協働アイデアコンテスト」エントリー受付開始
- 8/24(水) 「SB&企業の連携推進事業」第1回ハンズオン支援(三重)、太陽電化工業(株)第5回CSR委員会①
- 8/25(木) (株)二和印刷紙業 マルチSHD①、カフェアイリス運営会議
- 8/26(金) 「SB&企業の連携推進事業」第1回ハンズオン支援(京都)、(N)ボラみより情報局ヒアリング対応
- 8/27(土) 「第8回パートナーシップ大賞」第一次審査(～28日)
- 8/29(月) 名古屋市指定管理 第2回選定委員会
- 8/30(火) (株)真誠 マルチSHD①
- 8/31(水) 「SB&企業の連携推進事業」第1回ハンズオン支援(広島)

1 愛知県委託事業 ステークホルダー・ダイアログ(SHD)及びCSR推進による中小企業の活力向上事業

協働企業3社、真夏のダイアログ白熱

愛知県からの委託を受けて行っているSHD事業。7・8月は協働企業の取り組みが本格化し、従業員・取引先・地域およびNPOのステークホルダーごとのダイアログを順次展開していきました。協働企業の活性化を目指し、ときに熱く、ときにクールに、真夏のダイアログで活発な意見交換がなされました。

真誠/東京・大阪・福岡から駆け付けた従業員も

3社の先陣を切って6月29日(水)、従業員のSHDを開催したのは(株)真誠。全国規模で展開する食品(ごま)メーカーだけに、遠く東京・大阪、そして福岡から駆け付けた従業員もいました。5人ずつ4チームに分かれ、課題「50周年を迎えた真誠がやるべきこと」「従業員としてやるべきこと」を掲げて実施。付箋に意見を書き込んで模造紙に貼っていく作業に、「初めての経験だが、一つのことにはさまざまな考えが出てくる過程がよく分かる」「違う部署の人と意見を共有化できるところがいい」といった感想が聞かれました。

チームごとの発表に立ち会った同社の富田社長からは、「新しい視点で物事が見られるようになったのがよかった」等の講評がありました。

引き続き同社は、7月13日(水)に取引先、27日(水)に地域・NPOのダイアログを実施。真誠の活性化という共通の目標の下、それぞれの立場で貴重な意見が出されていきました。(平野)



▲他部署の人同士で混成されたチームでダイアログを実施

ふたつ 二和印刷紙業/手作りダイアログで盛り上がり!

(株)二和印刷紙業は名古屋市区の印刷会社です。二和印刷のダイアログ会場は自社の第二工場、山田社長の名前をもじった「ミノール」の愛称で呼ばれている施設です。朝礼後、社員総出で間仕切りを移動し、机や椅子を運んで会場設営を行います。

8月5日(金)に開催された取引先ダイアログでは、山田社長から母校印刷科の卒業生が就職できない厳しい現状を業界の皆様で考えてほしいという突然のご提案があり、ファシリテーターの市川博美氏(PSC理事)が機転を利かせ、まとめ上げました。

外部から大勢のステークホルダーが集まる行事であり、社員のモチベーションも向上しています。会社全体でこの事業に取組む雰囲気になってきました。(薄木)



▲取引先のステークホルダーを前に、印刷業界の現状を説明する山田社長(右)

ドライバーサービス/社長の前で、従業員が力強く宣言

8月11日(木)、(株)ドライバーサービスの従業員SHDが、刈谷市中央生涯学習センターで(株)On Earthの山崎代表をファシリテーターとして迎え開催されました。冒頭の徳升社長のあいさつの後、CSR担当の瀬尾部長より過去2回(取引先・地域&NPO)のSHDで出された参加者の意見・要望が発表され、各部門から参加した16名が真剣な面持ちで聞き入っていました。

その後、「愛する会社にするためには」「社長に頼らなくてもできることは」等の課題について積極的な意見出しが行われ、グループごとに「実行宣言」を発表。徳升社長も、従業員の力強い宣言に確かな手ごたえを感じた様子でした。(成瀬)



社長の前で「実行宣言」を発表する従業員の皆さん

太陽電化工業・南部薬品・桃の館 2年目3社、CSRレポート作りへ

2年目となる協働3社のうち、太陽電化工業(株)・南部薬品(株)についてはそれぞれ月1度の委員会活動が順調に進んでいます。活動に先立つCSR理解の講習会では言葉の意味に戸惑う様子でしたが、その後のCSRレポート作りに向けた討議になると徐々に熱がこもってきました。一方、(株)桃の館では、中道工場内にCSR委員会を立ち上げ、講習会を実施。CSRレポート作りは8月中旬以降、月に複数回の会議を進めていきます。

3社とも秋にはCSRレポートを持ち寄り合同発表会を行う予定です。レポート作りと並行して地域・NPOとの協働によるCSR活動についても討議を重ねており、合同発表会で新たな協働事業が発表できるかもしれません。日程が決まり次第、お知らせ致しますので皆さまぜひご参加願います。(阿部)



▲南部薬品のCSR委員会で、岸田代表(左)の話に耳を傾ける参加者の皆さん

PSC代表岸田の“東へ西へ”(2011年7月8日)

7月8日は、いくつかの事業が集中的に動いた。ひとつは2月に開校した「社会的事業コーディネーター養成科」が修了に近づき、私自身は受講生らの事業計画づくりや小論文作成、最終プレゼン等に向けての講義や指導等にかかる時間が大幅に増えた。8/5(金)には6ヵ月、600時間に及んだ講座が修了。最後まで熱心に通った16名が「パートナーシップ・コーディネーター(初級)」の称号とともに無事卒業していった。

また、2年目に入った中小企業の活力向上事業の今年のコンサル先である(株)真誠(北名古屋)のファシリテーター担当として、7/13(水)には取引先、7/27(水)には地域・NPOを対象にしたステークホルダー・ダイアログ(SHD)を実施。8/30(火)のマルチSHDに向けてのデータ整理など、去年の経験を踏まえて改善しながらの取り組みとなった。他の2社(株)二和印刷紙業・(株)ドライバーサービス)も、各社の状況に即しながら課題解決に向けて順調にSHDが進んだ。今年2年目となる3社は担当者を中心に、「CSR委員会」開催による「CSR報告書」作成へと、歩を進めている。

8月に入ってから、経産省事業(「SB&企業の連携推進事業」)のハンズオン支援が始まり、8/9(火)には栃木県宇都宮市、

カフェ&バーしらかわ OPEN!

三井住友海上名古屋ビル1階で、知的障がいを持つ若者が働くNPO喫茶「カフェ・アイリス」を運営しています。



2011年7月より、三井住友海上さんのお力添えにより、しらかわホール内「カフェ&バーしらかわ」(名古屋市中区栄2-9-15)の運営もさせていただくことになりました。

ホールで演奏がある日のみ営業というスタイルです。短い準備期間で、ぶっつけ本番に近い状態でオープン当日を迎えましたが、今回のオープニングスタッフは、この一年アイリスで修業を積んでレベルアップした仲間たちです。実際営業が始まると想定外の大行列ができ、戸惑いも大きかったのですが、仲間たちが素晴らしい動きを見せ日々のアイリスでの積み重ねを見事に発揮できたことは、心から嬉しく思いました。

スタッフ一同「初心を大切に」、ホールにお越しいただいたお客様が、少しでもおくるぎいただけるようなサービスを心がけてまいります。しらかわホールにお越しの際は、ぜひお立ち寄りください。

(社会福祉法人 ゆめネット 加藤)

採択決定! 愛知県委託事業

「新しい公共」支援事業NPO等活動基盤整備支援事業 『協働&協創型』ネットワーク促進事業

近年、「新しい公」の中心として、企業とNPOの協働が注目されています。本事業では、企業・NPO等をはじめ、公共の担い手となる多様な主体の協働ネットワークづくりとして、①担い手の「自覚と責任」を養成する講座の開催、②ネットワークづくりに向けた協議と交流の場づくり等を通じ、協働の創出をめざします。

行政、経済団体、NPO等の他、組合、学識者の方などに参加いただくネットワーク「協働ネット」は、愛知県の新たな取り組みとなります。

今年度は県レベルでネットワークを形成し、市町村レベルへと流れをつくります。(下平)

2 中央職業能力開発協会 委託事業 社会的事業コーディネーター養成科

事業計画と小論文の発表、そして講座修了へ

6月後半から、事業計画または小論文のいずれかを選び、約1.5ヵ月かけて作成と発表を行いました。「こうだったらいいのに」という漠然とした想いやイメージが、講師や受講生との意見交換や修正を重ねることに具体化され、より実現性の高いものに変化していきました。

8月5日の成果報告会・修了式では、「NPOや地域活動、企業のCSR活動などを学び、視野が広がった」「講師や受講生などから良い刺激をもらった」「事業計画を立てることで、やりたいことが見えてきた」などの感想が出されました。

今後は、NPOなどの起業、NPOや企業の就職などそれぞれの方向に向かって歩き始めます。この6ヵ月間で得たものを活かしてそれぞれのフィールドで活躍できるよう応援しています。(松橋)



「社会的事業コーディネーター養成科」を修了して/石井紀子

「あなたが見たいと思う変革に、あなた自身がなりなさい」昨年読んだ本の中で出会った、マハトマ・ガンジーの言葉。社会貢献に興味はあるものの一歩踏み出せなかった私に、この講座に参加する勇気を与えてくれました。

2月の開講式に始まり、「超」個性的なメンバーで、大いに学び大いに笑った6ヵ月間。多彩な講義を通じて、社会的事業をさまざまな角度から捉え、貴重な情報やスキルを得ることができました。特にインターンシップ研修で、NPOの現場を体験できたことは大きな収穫でした。受講生の皆さんを始め、講座で出会った方々のご縁を、今後大切にしていきたいです。各々が見たいと思う変革に、各々がなれる日を心待ちにしながら。



▼第1回ハンズオン支援(三重県)

8/24(水)は三重県松阪市、8/26(金)には京都市、8/31(水)には広島市と、まさに東へ西への日々となった。

その間、7月31日(日)に締め切った「第8回パートナーシップ大賞」の第一次審査が、8/27(土)の調査委員による予備審査、8/28(日)の審査委員による本審査と2日間続いた。



なお、お盆休み中の8月16日(火)には、大阪で開かれた「新しい公共支援事業NPO会議」に参加。全国の取り組みについて意見を交わした。その夜の交流会で、「せんだい・みやぎNPOセンター」の加藤哲夫氏の病状について話題になったが、残念ながらその10日後、京都で訃報を聞くことになった。PSCにとっては、「パートナーシップ大賞」の審査委員を務めていただいたり、逆に仙台に招かれたこともあり、NPO草創期の仲間として、心から敬意とともに哀悼の意を表したい。(2011.8.29 岸田眞代)